

HAG(ハンドメイド・アニメーション・グランプリ)2018 横浜賞の募集を開始します！

横浜市では、映像によるプロモーションに力を入れるとともに、アニメーション作家の育成・支援を目的としたコンテスト、「HAG(ハンドメイド・アニメーション・グランプリ)※」の趣旨に賛同し、「横浜賞」の設定と制作費の提供などを行っています。5回目となる今年度の横浜賞は、新たにテーマを増やし、3部門全4テーマで募集します。

※HAG(ハンドメイド・アニメーション・グランプリ)とは？

ビジネス化の機会に乏しい日本のショートアニメーション界の現状を踏まえ、若手アニメーション作家を育成・支援するためのプロジェクト。オリジナルのショートアニメーション作品を募集してコンテストを行い、受賞者には、(株)ロボットのプロデュースのもとに作品を制作する機会とその制作費、また、作品を各地のイオンシネマで上映する機会が提供されます。



1. 募集概要

横浜の魅力を伝えるプロモーションアニメの作品案を募集し、テーマごとに「横浜賞」受賞作品を選定します。受賞者には、制作費と、株式会社ロボットのプロデュースのもとで映像化する機会が提供され、完成作品(アニメーション動画)は首都圏25館のイオンシネマや市営交通媒体(市営地下鉄)などで上映します。

(1) 横浜賞テーマ

■文化観光部門

「であう街・横浜」

■環境創造部門

「横浜農場 ～大都市にある農の魅力～」

■交通部門

①「横浜市営地下鉄乗車マナー ～ゆずり愛～」

②「バスを動かすのは、人だ」

(2) 提出物：上記テーマに沿ったアニメーション動画の企画書(絵コンテ)

※未発表オリジナル作品に限ります ※テーマによって条件が異なるため募集要項をご覧ください

(3) 募集期間：平成30年7月19日(木)～9月13日(木)

(4) 応募先：株式会社ロボット内「HAG事務局」

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 3-9-7

詳細はHAG公式サイトをご覧ください。 URL：<http://www.robot.co.jp/special/hag/>

HAG2017 横浜賞受賞者の紹介



<左>大寄 友 さん

1980年東京生まれ。

国内外のCMのディレクション、モーショングラフィックス及びミュージックビデオ、ファッション映像など多岐にわたり映像作家として活動している。

<中央>胡 ゆえんゆえん さん

1986年中国生まれ。4歳から日本に滞在し、小学校卒業後帰国。

2009年南京芸術学院グラフィックデザイン専攻卒業。

2012年東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻修了。

現在は、映像作家として日本で活動中。

<右>山田詩音 さん ほか(グループ応募)

代表山田詩音による、金沢美術工芸大学視覚デザイン専攻卒業3名の手描きアニメーション・3DCG・モーショングラフィックスを併用した映像制作チーム「Hurray!」。

単発のMV作品を多く制作しており、手がけた動画の総再生数は3,000万再生以上に及ぶ。

2. スケジュール

平成30年7月19日 横浜賞募集開始
9月13日 募集締切／1次審査
10月中旬 HAG2018最終選考プレゼンテーション
(会場：イオンシネマみなとみらいを予定)
10月下旬 作品制作開始
平成31年2月～ 作品完成・順次上映

お問合せ先

文化観光局企画課横浜プロモーション担当課長	貝田 泰史	TEL : 045-671-4065 (横浜賞の概要、文化観光部門)
環境創造局農業振興課長	近藤 元子	TEL : 045-671-2606 (環境創造部門)
交通局高速鉄道本部営業課長	赤松 美直	TEL : 045-326-3851 (交通部門①)
交通局総務部総務課長	原口 紳一	TEL : 045-326-3821 (交通部門②)